



第 28 号
発行
富士市消防団
 富士市永田町1丁目100番地
 電話 (0545) 55 - 2851
 (0545) 55 - 2852
 FAX (0545) 53 - 4633



活動服リニューアル

消防団の活動服を、全国的に統一したデザインにする流れをくみ、平成29年7月に富士市消防団の活動服をリニューアルしました。

火災などの活動時の安全面向上につなげるため、ストレッチ素材に加え、オレンジ色の配色をふやし、背中に蓄光反射材を入れ、視認性をよくしました。



つま先から地面の冷たさが伝わる寒中の一月七日、富士市消防出初式が市役所にて挙行されました。

本年は機関員として参加させて頂き、消防ポンプ車の前から、雪化粧した富士山を背景に、整列した富士市消防及び消防団員の勇姿を目の当たりにし、気が引き締まる思いで市長をはじめ来賓の講話を拝聴しました。

パレードにおいては、昨年更新して頂いた消防ポンプ車に乗車し、沿道に詰め掛けた市民の皆様との眼差し、特に多くの子供達から手を振って頂き、消防団員として誇りを感じられる走行でした。

昨年は富士市内において大規模な工場火災等、消防団の出場回数も例年に比べ多かったと思います。

今年は火災の少ない事を願いますが、災害等の有難い事に活動できるよう日頃の訓練に励んで行こうと心を新たにしました。



出初式
 第二十九分団 班長 植松 克則
 木島 在住



平成30年富士市
消防出初式
写真コンテスト
優秀作品



議長賞「消防車出動」川口 廣男



消防長賞「守りのカーテン」齊藤 勝則



消防団長賞「出初式オープン」寺田 信夫



市長賞「富士も見守る救助演技」望月 喜久夫



防火協会賞「虹の中で放水」藤田 理行

第三十一回 消防まつり

第十二分団の消防まつり

第十二分団 部長 長田 明
桑崎 在住

私たち第十二分団のお店は草餅です。一言で言えば、餅の中にあんこが入った和菓子ですが、これがなかなか手間が掛かるものなのです。

準備は4月下旬から始まります。春先の天候を見て日にちを決め団員とその家族で御殿場、裾野方面へヨモギを採りに行きます。皆で歩き回り、先端の柔らかく香りのいいところだけを半日程かけて摘み取ります。持ち帰ったヨモギは更に選別、洗浄、あく抜きされ詰所の冷蔵庫へ保管されます。

それから半年が過ぎるといよいよ消防まつりです。会場に着くとすぐに全員で機材を下ろしテントの設営、その後は自然と各担当部署に分かれます。水やお湯を汲みに行く人、かまどを準備する人、餅を丸めるテーブルや売り場を設置する



人、看板を取り付ける人、と誰に言われることも無くテキパキと動きます。先輩から受け継いでみんな分っているんですね。

そうこうしているうちに、いち早く作業を始めた蒸かし担当が米の出来具合を見ています。白の中でヨモギを小突いていると「いくよ〜」、「いいよ〜」蒸したもち米は白の中へ、ぺったんぺったん突かれて草餅に。「いくよ〜」、「いいよ〜」と次は丸めるテーブルへ。ここでは団員と家族が手際よく次から次へあんこを餅で包んでパック詰め、そして売り場へ並ぶのですが、すぐに売れてしまうのでどの工程も休む間はありません。

気がつけば既にお昼過ぎ、これが第十二分団の消防まつりです。今年も優秀賞をいただき大変嬉しく思っております。これは団員と家族が個々の力を出したチームワークによるものではないでしょうか。これからもチームワークを大切にして日々の活動に取り組んで行きたいと思う一日でした。

消防まつりを終えて

第十六分団 分団長 青木 勝也
横割 在住

天気にも恵まれ、多くの市民の皆様は御来場いただき、活気あふれた消防行事が無事行われたことに、まずは大変喜ばしく思っています。

富士駅南地区に詰所を置く第十六分団は、現在二十六名の団員で構成されていますが、この日は二十名の団員の協力のもと、第十六分団名物やきそばの販売をすることで市民の方々に、サービスさせていただきます。開会式を終え、しばらくはポツポツだった客足も、午前十時三十分を過ぎた頃から行列ができて、大変忙しいやきそば販売のテントとなりました。

小学生の防火ポスター表彰式、富士リズム幼稚園、認定こども園わかば幼稚園、藤田幼稚園の演技に、両親・祖父母も見学にとられ、この事も会場のにぎやかさを増した要因であったと感じたところです。

また、子供コーナー、体験コーナーなど、団本部、消防本部職員の皆様、御苦勞様でした。今後も活気あふれる消防行事にしていきたいと思えます。



消防まつり出店コンクール 優秀賞

- ・第24分団 射的
- ・第11分団 草もち
- ・第1分団 焼きそば・焼きうどん・ジュース
- ・第28分団 海賊焼きそば・ポップコーン
- ・富士市アマチュア無線非常通信協力会
アマチュア無線機紹介等・ポップコーン



防火ポスター優秀賞受賞者（中学生）



防火ポスター優秀賞受賞者（小学生）

吉原祇園祭

吉原祇園祭と第一分団

第一分団 分団長 早房 一裕
早房工員 勤務

第一分団管内には吉原本町通りがあり、毎年六月の第二日曜日に掛かる土日、二日間に掛けて吉原祇園祭が行われます。吉原の各町内に住む団員全てが青年会の経験者や現役青年会員で祇園祭に携わっており、一年掛けてこの日が来ることを楽しみにしています。

町内の伝統である太鼓・鐘・笛を奏で、それを受け継ぎ次世代へ伝えていくことを子供の頃から自然と身につけ、それを誇りに、山車・屋台の引き回しに威勢良く歩くということは他にはなかなか無い事と思っています。

第一分団の活動もこれと同じで先輩団員から伝わった地域との繋がりを大切に、管内では減災となるよう日々努めております。

しかし、各町内の事情も変化して、地元に住む青年が減少しているようで、以前は青年会の青年長を経験した者が第一分団へ入団してくれましたが、最近ではなかなか御理解頂けなく入団者が減っております。

社会の背景を見ても若い方は防災訓練などに時間を費やすことも厳しく、年々



と町内との繋がりが希薄になっていくようです。

そのような条件の中、私達第一分団は町内の皆様と末永く繋がっていくことが重要であり、先人の祇園祭の伝統を継承していくことにより、人と人との繋がりを太いものにして助け合っていくことを私達は現代に置き換えて地域防災に工夫をして共有した考えを持つべきと感じます。また、団員は各町内において祭りだけでなく防災の核となって貢献できるように教育・訓練を重ねて災害に対して備えることではないでしょうか。

皆様と防災を考えて大災害が想定内となるようにし、いつまでも続く吉原祇園祭のように地域と第一分団も長く長く繋がっていきますように願っています。

富士川夏まつり

消防団員としての富士川夏まつり

第三十分団 団員 中村 大助
かやの里 勤務

毎年一番暑い夏に行われる富士川夏まつり、いつもながら大勢の観客で賑



わいを見せている。過去には元環境大臣の望月義夫氏がSPを引き連れ、祭りの全貌を見学にきた事もあり、また、同じく元環境大臣の細野豪志氏も祭りを賑わせた一人だった。残念ながら「お忍び」等で来ている有名タレントはまだ確認出来ていないので今後に期待すると共に、目を光らせて警備にあたりたい。

話を本題に戻すと、富士川夏まつりの一番の見所は家族で賑わう団樂の場所であり、盛大な花火を間近で見ることの出来る伝統ある街の行事にある。我が第七方面隊は毎年夏まつりになると、花火による延焼防止に全力で努めている。

祭りの開演前、花火の花火が散る場所付近に散水し、防火に努める。また、花火打ち上げの真下に入り、通称「シュボシュボ隊」と呼ばれ、実名は山林火災用「背負式消火水のう」を背負い、花火の灰や塵が落ちて来る絶好の場所で待機する。そして終演後に、小さな火種を細かく消していくことが最大の任務となっている。ここから見る花火は、誰も見たことのない花火の光、音、爆風、灰の熱が伝わる場所で消防団の警備ならではの迫力と魅力を兼ね備えている。



の方々は、第七方面隊長又は第三十分団長に御連絡頂ければそれなりの配慮はさせて頂くつもりです。是非一度御覧されたい行事である。今後も第七方面隊に乞う御期待！

団員家族

家族旅行

第十九分団 団員 金森 征一郎
松岡 在住

夏季休暇を利用して私、妻、四歳と三歳の娘の四人で浜松に一泊二日の旅行に行ってきました。現在、妻が双子を妊娠している為、当面は遠出が出来なくなると思い今回の旅行を計画しました。

初日、予定時間よりも早く到着した為、地元で有名なラーメン店「びぎ屋」で昼食をとりホテルに向かいました。ホテル側の気遣いで、部屋を見晴らしの良い最上階のスイートルームに変更して頂き、チェックイン後はホテルのプールで時間いっぱいまで遊び、夕食はバイキングを満喫しました。



二日目は妹家族と合流し浜名湖パルパルへ行きました。当日は天気がよく猛暑日であったので、広いパーク内を小さい子供を連れて移動するのは大変でしたが、子供たちは初めて乗る色々なアトラクションや一番楽しみにしていた「泡フェス」での泡まみれにとっても興奮していました。

子供たちの喜ぶ顔を見て、来年は家族が二人増えますが近場でどこか連れて行くぞ！と思う旅行でした。これからも家族に頼られ市民の方にも頼られるような消防団員として活動していきます。



富士市訓練大会及び

富士支部査閲大会

査閲大会を振り返って

第二十二分団 分団長 小林 伴和
北松野 在住



まだ吐く息も白い二月のおわり、五月二十八日に開催される市訓練大会に向けての訓練が始まりました。我々第七方面隊は、訓練札式に出場です。私は指揮者を任せられました。二十七年前、入団して間もないころの清庵大会（旧清水市と庵原郡三町）で、富士川町消防団の列員として優勝した経験はありましたが、今度は指揮者。列員をまとめられるだろうか。長い指揮の号令や立ち位置等、覚えらるるだろうかと、いろいろなプレッシャーを感じました。それでも指導員的確で熱心な指導を受けていくうちに次第に形になっていきました。



最後にになりましたが、共に苦労した選手のみならず、五箇月の間、熱心な指導をしていただいた指導員の方々、第七方面隊各分団の方々、関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。



九日に行われる富士支部査閲大会に向けてさらに頑張らなくてはという思いが湧いてきました。残念ながら富士支部査閲大会で優勝することはできませんでしたが、これまでの訓練、市大会での優勝が自信になり、これからの消防団活動に役立てようと思います。

ポンプ車操法支部査閲大会

第八分団 部長 高橋 良員
ハリマ化成株 勤務

平成二十九年七月九日、富士支部消防操法査閲大会のポンプ車操法に出場しました。市内大会で優勝し、期待と不安を胸に挑んだ大会です。

私は指揮者を担当し、ここまでくるのにどれだけ時間を選手や指導員と共に費やしてきたか分かりません。また、この舞台に立つまでに、選手や関係者との意見の衝突、体調を崩す選手など幾つもの山を越えました。「もういいじゃん...」と思う時もありましたが、全員が優勝に向けて努力する姿に自分の気持ちを奮い



立たせました。大会前夜は緊張感のせいかあまり眠れずに本番当日を迎えました。我が隊の出番は最終の四番目です。本番前は、私も選手達も大きな緊張は無く、やるだけの事をやってきた自信の表れか笑顔も見られました。

結果は、目標としていた県大会には残念ながら進むことは出来ませんでした。大会後は、悔しい気持ちで一杯でした。選手達も言うまでもありません。みんな

同級生との消防操法訓練大会

第九分団 団員 岩間 和規
リコークリエイティブサービス(株) 勤務

二位 第三方面隊 杉山隊
そうアナウンスされた時、最初に全員で決めた「やるなら優勝しかない！」という目標が達成できた瞬間でした。

指揮者の杉山直也と一番員の私は訓練札式の出場経験は複数回あれども優勝経験がなく、やり遂げた充実感がありませんでした。二番員の佐藤淳と補助員の池田純は札式優勝経験がありそれを羨ましく思っていたところ、今回の小型ポンプ操法の話の頂きました。

良いタイミングで同級生が五人揃って来たこともあり、「同級生で出場したい」と当時の分団長に無理を承知でお願いしたところ快諾してくれました。三番員の牛窪秀起は入団半年未満での出場でした



杉山隊は、練習が終わっても納得できるまで居残り練習に励みました。更に練習を撮影しては夜中まで反省会、練習日に全員揃わなけ

が、持ち前の運動神経の良さで諸先輩方の丁寧な御指導もあり、すぐに基本動作を覚えていきました。しかし指揮者を除く四人が会社員であり、全体練習が始まった時に要員が揃わない可能性がありました。そこで、第九分団では他にもやる気があった山口隊が結成され、富士市消防団に前例のない一つの分団から二隊が大会に出場することとなりました。これが良い相乗効果となり、身近にライバルがいるお陰で負けず嫌いの私たちが



を慰める良い言葉も思い浮かびませんでした。しかし、この大会に出場して改めて消防団活動の良さに気付くことができました。この歳になってこれ程熱くなり、チーム一丸となって何箇月も練習し、その練習にも多くの方々のお手伝いと声援があったからこそ、この大会に出場することが出来ました。最後に、選手のみならず、第八分団のみならず、指導員の皆様、第三方面隊の皆様、御協力いただいた富士市消防団の皆様、ありがとうございます。

富士市消防団訓練大会出場

第十四分団 部長 井出 英章
 藤原 在任

平成二十九年富士市消防団訓練式並びに消防操法訓練大会に、第四方面隊訓練式の出場者として出場することを分団長から頼まれ、自分自身が指揮者として務まるのか不安で自信がありませんでした。消防団入団以来、小型・大型・訓練式の出場者として出場してきましたが、自分が選手として出場してきまじいのは今回が最後ではないかと思ひ、引き受けることとしました。

富士山女子駅伝

富士山女子駅伝 全日本大学女子選抜駅伝競走

第十二分団 班長 谷米 良典
 落合町 在住



年末を飾る、富士山女子駅伝が平成二十九年十二月三十日に開催されました。私はこの駅伝大会が始まっ

ました。その中で大会に対して、自分自身の心境の変化と今後について思った事をお話ししたいと思います。
平成二十五年の第一回大会に当たり、何故十二月のこんな忙しい年末に大会を開くのかと、不満を抱きながら要請に応えた事を思い出します。また、当日は富士山も見られず、これではやる意味があるのかと朝から気乗りしない思いで担当

月から訓練が始まりました。方面隊訓練も四月から木島のヘリポートで始まり、訓練式指導員の方々の指導のもと、号令指揮位置の練習では、何回も注意を受けたり、訓練中に足を怪我したり、指揮者が務まるのか不安だらけになったこともありましたが、列員の熱心な訓練の姿や方面隊各分団員の協力の姿を見て、自分も頑張ろうと思ひ訓練を重ねてきました。

大会当日、今までの大会とは違い、指揮者としての不安と緊張が高まりました。開始後は、号令もスムーズに掛けられ、緊張も無くなりましたが、途中自分の号令指揮位置の間違い等があり、訓練の業務に向かった覚えがありません。また、配給されたジャンパーを着る、着ないという指示もかわったり、一体何を主意としているのか、怒りさえ覚えた記憶があります。しかし、そんな思いを一掃してくれたのが選手達でした。ただひたすらに走る姿、選手を支えるチームやスタッフの姿でした。自分達の勝利を信じて自分の出来る事を献身的に務める様子を目の当たりにした時です。また、沿道からも沢山の市民が応援をしていました。私が単純に思っていた大会への偏見は本当につまらない自分の都合であったと反省し、それから毎年この大会が開催されることに感謝するとともに、協力できる事に誇り



の成果を十分に発揮することは出来ませんでした。
第四方面隊の期待に沿う事ができず残念な結果となってしまいました。が、方面隊が一つになって大会に臨めた事が本当に良かったと思っています。
今回の大会で得たことを、今後の消防団活動に活かしていきたいと思います。



静岡県消防大会

静岡県消防大会 静岡方面隊長

土屋 仁
松岡 在任

十月二十八日に富士宮市市民文化会館大ホールにおいて「平成二十九年静岡県消防大会」が、静岡県消防協会富士支部(富士市・富士宮市消防団)主催で開催されました。

大会の冒頭、長年の消防団活動が評価された団員が消防功労表彰を受賞されました。富士市からは佐藤副団長・増田第二分団長・石川第十一分団長が選ばれ、静岡県副知事から表彰されました。

議事においては、平成二十八年度に提出された各地域からの要望についての経過報告があり、その後、今年度に出された協議事項についての決議が行われました。

県立富士宮西高校ギター部によるアトラクションのあとは、消防職団員による意見発表会がありました。はじめに小山町消防団 岩田団員の「多様化する消防団活動と団員確保に向けて」の意見発表があり、県内から合計八名の消防職団員

が与えられた時間の中、意見発表をおこないました。意見発表の二番目に富士市消防団を代表して、第十四分団の中島真麻団員が「素直な気持ちを今後の活動に活かして」の意見発表をおこないました。中島団員の意見発表は、消防団員を三年経験し、心に残る活動や今後の課題などについて素直な気持ちを多くの人が見守るなかスピーチしました。中島団員のスピーチはハキハキとした口調でとても聞きやすかったです。



静岡県消防大会は毎年、東部・中部・西部のそれぞれの地域が輪番で行い、富士支部の開催は十二年ぶりでしたが、大きなトラブルもなく無事に閉会することができました。
来年は中部で開催されるので、機会があれば参加したいです。

ソフトボール大会

祝ソフトボール 大会三連覇!

第十五分団 団員 久能 元也
株式会社三協 勤務

今年も富士市消防団員ソフトボール大会の時期を迎え、我が第十五分団は昨年、一昨年に加え三連覇を目標にしています。大会に備え第四方面隊での事前練習が計画されましたが、連日の雨により全調整ができないまま、本番当日を迎える



こととなりました。
ぶっつけ本番での大会で不安だらけでしたが、試合前の練習を行なっているうちに分団員の気持ちが高まっていき、優勝に向けて練習にも力が入っていくのが感じられました。

初戦は期待と不安のなか大量得点をうばうことができた。決勝戦まで順調に勝ち進むことができました。
決勝戦までは二時間も時間が空いてしまい、昨年の準決勝も同じような休憩後で大変苦戦をした記憶がよみがえり不安

がよぎりましたが、この日一番の堅守が続く、無事に勝利することができました。
団員一丸となつての三連覇はとても嬉しく、来年は四連覇を目指し頑張りたいと思います。

ラッパ隊

『消防団ラッパ隊に入隊して』

第四分団 団員 会田 亮太
今泉 在住

私が消防団に入団したのは三年前、二〇一四年の九月の事です。消防団での活動は地域と私にとって身近な存在でありながら、今まで知らなかったことが多く、毎回発見と驚きに満ちたものでした。火災現場での活動はもちろんの事、夜警や救命救急の講習、訓練や地域のイベントの手伝いなど、身近な繋りを防災に役立てている事を知りました。私自身がその活動に参加する事で地域の方とのコミュニケーションも取れる様になりました。

二〇一五年一月、初めて参加した出初式でラッパ隊の存在を知りました。ラッパを演奏しながら行進する姿は非常に凛々しく、見ていて清々しいものでした。その時は自分もその仲間に加われるとは思っていませんでしたが、その翌年、出初式で先輩団員に「ラッパ隊で参加者募集している。興味あるなら紹介するよ。」と言われ、これはチャンスだと思い、すぐに入隊を申し込みました。ラッパ隊の練習に参加するようになって数ヶ月経ちますが、吹奏楽未経験者の私には音を出すこと自体が思っていた以上に難しく、曲の演奏が出来るようになるには相当な練習が必要です。先輩方の指導を受けながら、ラッパ隊



消防学校

消防団員幹部教育を終えて

第十三分団 部長 川口 明広
鮫島 在住

としての練習と、消防団員として地域に根付いた活動を行い、地域住民の安全・安心を守ると共に、青年や子供が消防団に憧れをいだくよう、凛としたラッパ隊員を目標に日々精進していきます。



昨年の十月二十八日から二十九日にかけて静岡市清水区にある静岡県消防学校において消防団幹部教育が行なわれ参加をしてきました。私は消防団に入団してから二十五年になりますが、消防学校に行くのは初めてで、当日は静岡県内の消防団幹部の方が集まるということもあり、行くまでは緊張していました。行ってみると消防団特有のフレンドリー感が漂っており、充実した二日間を過ごすことができました。

とができました。教育内容としては、消防団員として地域の皆様の人命救助の方法、例えば倒壊した家屋から被災者を救出する場合の注意事項や様々な方法や、救出したことを知らせるためのマーキングの方法など、地元に戻ったあとで震災時の対応のしかたを各分団員に教えるための指導者育成の内容がほとんどでした。教育中に何度か東北震災の際の消防団員の活躍についての話が出てきました。テレビで何度か取り上げられているので皆様も御存知かと思いますが、このころから消防団の必要性が世の中に広まっていったのだなと感じました。

今回の幹部教育を受けて、これからは地域の皆様の期待に応えられるような活動を展開していきたいと思われました。また、教育以外では、静岡県全域の消防団員の方々と夜遅くまで情報交換ができ、教育を受けた内容については、地元消防団員へ教育をし、全員が同じ行動を取れるようにしていきたいと思えます。



新入団員教育

新入団員教育を終えて

第二十六分団 団員 望月 輝久
下五貫島 在住



平成二十九年四月二十三日、富士市消防防災庁舎にて行われた新入団員教育の研修に参加しました。

消防団に入団したきっかけは、近所の方の勧めがあったからです。それまでの私の生活は、消防などボランティアとは無縁のものでした。消防団への入団をきっかけに、地域防災や全国各地で起こっている自然災害にも興味を持つようになりました。そして、研修に参加して、専門的な知識を学んだり、実地訓練を行ったりすることで、消防団の存在意義や役割を理解

するとともに、その大変さや責任の重さを痛感しました。これから訓練を重ね、覚えていかなければならないことが多くあると思えますが、緊急時の出動に対応できるように、精一杯頑張っていきたいと思えます。また、地域の方々の防災に対する意識が、今以上に高められるよう、日頃から自覚を持って、啓発活動をしていきたいと思います。まだまだ、団員としては未熟者ですが、今後ともよろしくお願ひします。



ついに私も消防団員に…

第二十八分団 団員 杉尾 怜香
岩淵 在住



「消防に入らないか？」そんな父の一言の誘いで、消防団に入る事を決めました。私が消防団に入る事にあまり戸惑いが無かったのは、父がいう事、そして同じ分団内に女性団員がいる事でした。友人や会社の上司に入団した事を話しても、「何をやるの?」「転職したって事?」等、消防団の活動を知らない人や、消防団の存在自体を知らない人もいました。かく言う私も、父が入っていないければ消防団をあまり知らなかったと思います。自身が活動に参加して、

また、大会前や、火災予防週間などの期間は仕事終わりに訓練、早朝に訓練と活動も多くなり、家にいる時間が少なくなったり、家族に不便をかける事もあります。しかし、そんな中でも多くの団員が参加できるのは家族の協力があるからこそだと、痛感しています。今後、もっと多くの方に消防団の本質を知っていただけるように、家族や地域の方々や消防団が触れ合える機会が増えていくと良いと思います。その為に、私も自身も積極的に活動に取り組みしていきたいと思えます。



「こんな訓練をしているんだ」「ボランティアといえど、いざという時の為に真摯に訓練を行っているんだ」と、とても感銘を受けました。

新ポンプ車納車

新型ポンプ車が納車された日の事

第三分団 分団長 杉山 寿一
伝法二丁目 在住



年の瀬も押し迫った、平成二十九年十二月十四日に我が第三分団に新消防ポンプ自動車(納車)が納車されました。

りとなる行事に、分団長として経験出来た事は光栄、かつ責任の重さを痛切に感じました。

早朝より身を切るような寒さの中、消防防災庁舎にて関係各位が見守る中、引き渡し式が行われ、私は「号令掛け」の役を仰せつかりましたが、寒さと緊張で思い通りの「号令」が掛けられませんでした。

平日にもかかわらず第三分団からも七名の団員が参列し、待望の最新鋭のポンプ車への期待と、『上手に操作出来るのか?』という様々な団員の表情が印象的でした。

明日からは、いち早く操作方法を習得し、いざという時のために素早い対応が出来る態勢を整えるのと同時に、このポンプ車が活躍する場の広い社会を作る



ために、地域と連携し、火災予防や防災等の啓発活動を熱心に行うと心に誓いました。

式典後、いつもお世話になっている三日市浅間神社にて、御祓い祈禱を行い、神前に「火事が起きませんように」と願い、あの小さな鳥居を腹這いになりくぐり抜け、一日を終えました。

新車納入

第二十一分団 部長 勝又 宏文
久沢南区 在住



昨年十二月十四日、私の所属する第二十一分団に新ポンプ車が納入されました。前ポンプ車は私が消防団に入団して二年目に配備さ

れ、それから二十一年間にわたり、火災出動だけでなく、何百回という過酷な訓練にも耐え、故障もほとんどなかった車両でした。

毎年、出初式の前日には、分団員全員でポンプ車をピカピカに磨き、式典に参加していました。第二十一分団に所属していた団員の思い出がたくさん詰まったポンプ車でした。今後は他の場所での活躍を団員みんなが祈っています。

新ポンプ車が配備されてから一箇月あまり、新ポンプ車の取扱、装備などは、前ポンプ車とは大幅に違っているため、私は全部覚えることができるか不安です。そのためにも、充実した訓練をしつかり行いたいと思います。また、若い団員には、取扱、装備などを確実に覚えて

もらい、次の世代に伝えてもらいたいと願っています。

今後も、市民の財産であるポンプ車を有効に活用し、消火及び防災活動に励むように、分団長を中心に団員全員で一致団結していきたいと思っています。



夜警

夜警

第二十三分団 団員 石川 実
久沢北区 在住

私が消防団に入団して五年目の夜警が始まりました。

富士市消防団では毎年、一月から二月までの約一箇月間、火災期特別警戒として夜警を実施しています。午後八時から午後九時まで、第二十三分団の管轄である久沢東、西、北区、厚原西区を巡回し、火災予防を呼びかけています。また、巡回後は詰所にて午後十一時まで待機をしています。

私たち第二十三分団は、一班四人で週一回の当番で火災に備えています。火災は

応急手当普及員

『応急手当普及員になって』

第六分団 班長 田中 勉
今宮 在住

平成二五年九月十六日に普及員になり五年になります。

当初、第二方面隊の普及員は五名でしたが、現在は十名となりました。始めた頃は、講習もスムーズに行かず、時間だけが過ぎ、受講者からのクレームも多かった事です。受講者のなかには「講習をやったことになって終わりにしないか」と冗談で言われたこともありました。

講習会の後に普及員全員で反省会を開き、意見を出し合い、皆で話し合いました。講習に慣れていないので、説明している途中で自分自身が何を言っているのかわからなくなり、言葉が上手にでなく、頭が真っ白になったと話す者もいました。何度も何度も応急手当普及員用の

テキストを読み返しながら人に教える難しさを痛感しました。

現在は、若い普及員と共に、より多くの消防団員と市民の方に救命講習を広げて、一人でも多くの命を救えるように努めていきたいと思っています。

今後は、第二方面隊の普及員で、災害時に対応した応急手当の方法なども積極的に取り入れ講習をしたいと考えています。皆様の大切な人のために、恥ずかしながら三年に一度の救命講習を受けていただけるようお願いいたします。



消防団員募集

あなたの「力」を求めています
富士市消防団



富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ウェブサイト等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。



富士市消防団協力事業所の紹介

富士市消防団協力事業所

平成三十年二月現在

- 24 山本土建
- 23 (有)池田自動車工
- 22 (株)大善工務店
- 21 (株)するが齋
- 20 潮屋
- 19 中島工業所
- 18 三晃堂鍼灸治療院
- 17 酒落一
- 16 名花堂
- 15 三角屋(有)
- 14 (有)増田製袋
- 13 合資会社 堀野紙工
- 12 田中置工業
- 11 影山モーターズ
- 10 (有)くるがねや
- 9 佐藤畳店
- 8 (株)川嶋組
- 7 深沢消防(株)
- 6 平松建築
- 5 佐野晶彦(不動産賃貸業)
- 4 (有)佐野商事
- 3 足場屋 勇仁
- 2 (株)三和工務店
- 1 富士トラック(株)
- 25 合資会社 山田運送店
- 26 桑原左官工業
- 27 静岡日野自動車(株) 富士営業所
- 28 シンセア環境サービス(株)
- 29 (有)大塚技研 第2工場
- 30 (有)飯田電設
- 31 竜陽商会
- 32 (株)西尾組
- 33 (株)タイヤ館富士
- 34 (株)佐野総業
- 35 遠藤建設(株)
- 36 渡邊農園
- 37 サンコー防災(株)
- 38 税理士法人IBS富士事務所
- 39 (株)加々美
- 40 (株)司技研
- 41 (有)ヤザキ総合エクステリア
- 42 税理士法人トップ 富士事務所
- 43 (株)ブレーン
- 44 間野吉幸税理士事務所
- 45 和田建設(株)
- 46 (株)イチエィ
- 47 (有)三浦電気

※登録順



FUJI RED FAIRY カラーガード隊 隊員募集中

●連絡先●
富士市消防本部消防総務課
☎0545-55-2851



体を動かすことが大好きな人・興味がある人はぜひお問い合わせください。

編集後記

消防団だよりを発行するにあたり団員の皆様、団員御家族様、また関係団体の皆様から多数の原稿や写真を今年もお寄せいただき事が出来ました。

寄稿していただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

皆様からの寄稿を拝読させていただき、消防団活動に対する団員のひたむきな姿勢、家族の皆様のお理解、御協力に改めて感謝を申し上げます。

さて、今年度は五月に富士市訓練大会、七月には新活動服で臨んだ富士支部査閲大会が開催されました。各大会とも出場隊の選手は、日頃の訓練の成果を発揮し、正々堂々と戦ってくれました。大会を通じて学んだことを、今後の消防団活動に生かしていただきたいと思います。

来年度も様々な消防行事がありますが、市民の皆様にも消防団活動を理解していただけるよう団員一丸となって努力していくとともに、複雑多様化する災害に迅速に対応できるように、日々の訓練に邁進していきたいと思っております。

結びにあたり、この消防団だよりが、団員各位の意識の高揚と団結心が養われることを祈念すると共に、一人でも多くの消防団員を増やすことができるよう、これからも紙面作りに努力してまいりますので御支援、御協力をお願い申し上げます。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

- 委員長 土屋 仁
- 副委員長 第四方面隊長
- 団本部 副総務部長 秋山 一男
- 委員
- 第二十五分団 係長 鈴木 信一
- 第四分団 係長 佐野 晶彦
- 第八分団 団員 仁藤 貴敏
- 第十三分団 係長 福島耕一郎
- 第二十六分団 係長 齊藤 正道
- 第二十四分団 班長 小松 翔
- 第三十一分団 係長 神戸 邦明